

# 伊藤忠ロジスティクス(株)が 千葉大学ソーラーデカスロン大会出場に協賛

2012年9月14日よりスペイン・マドリードで開催された「ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012」に千葉大学が日本の大学チームとして初参加しましたが、伊藤忠ロジスティクス(株)はこれに協賛し、日本からの資材・備品等の輸送と現地での据え付け作業等を支援しました。「ソーラー・デカスロン」とは、太陽光の力のみで快適な次世代住宅の建築設計を行う世界規模の学生建築コンペティションで、今回で7回目、世界中の名だたる大学から19チームが参加して、その建築技術やプロモーションの腕等を競い合いました。千葉大学は、日本が古くから培ってきた「おもてなし」の心と、同大各学部の研究成果を結集した次世代技術を兼ね合わせた「おもてなしハウス」を出展し、好評を得ました。伊藤忠ロジスティクスとしては、こうした産学共同プロジェクトに積極的に支援し、また太陽光発電等の次世代技術の発展に、今後とも寄与して参ります。



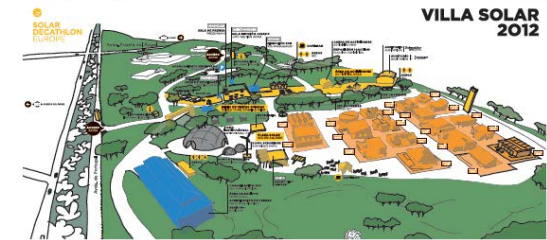
## VISITORS

Villa Solar:

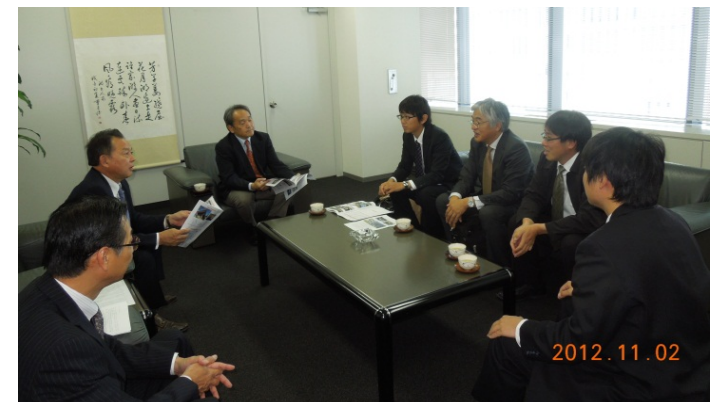
220,000 people

Omotenashi House:

15,000 people



大会の様様(赤丸が千葉大の「おもてなしハウス」)



佐々社長(左から2人目)に大会報告をする  
千葉大学の皆さん(右側4名)